

5. 小売業

売上額の状況

－業況・売上D Iともマイナス台に悪化－

業況D Iは△7.6と前期と比べ8.4ポイント悪化した。これは前期の見通し+0.9と比べ8.5ポイント下回っている。

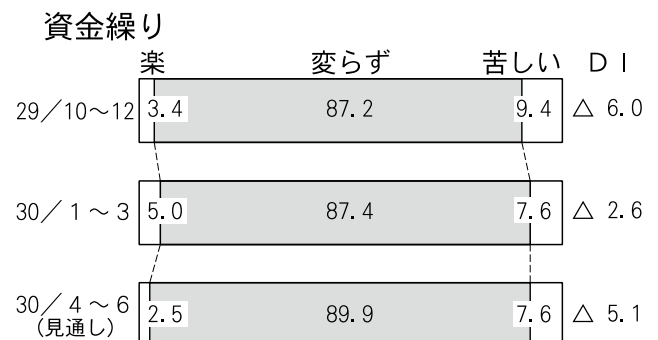
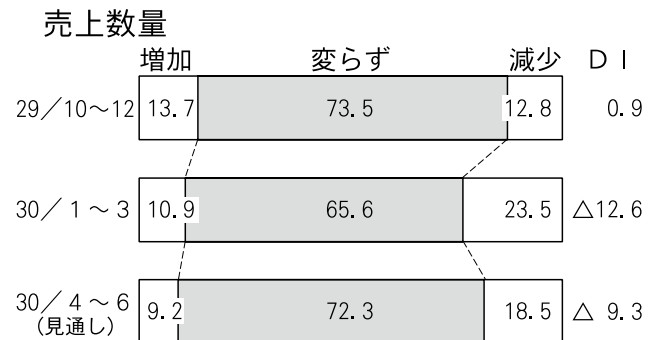
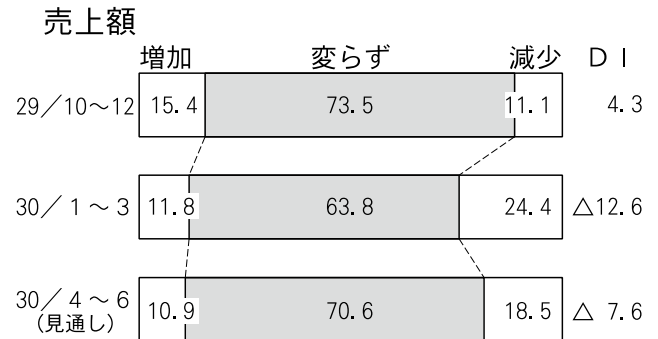
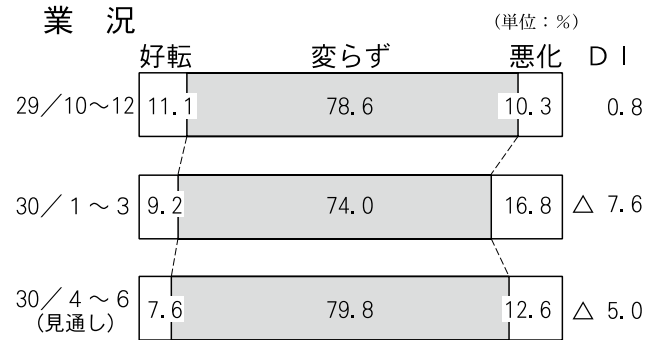
売上額D Iは△12.6と前期と比べ16.9ポイント悪化した。これは前期の見通し△2.5と比べ10.1ポイント下回っている。

売上額D Iを業種別でみると、前期と比べ自動車・自転車小売業、家庭用機械・電気機械器具小売業、書籍・文房具小売業の3業種で横ばい、織物・衣類・身の回り品小売業、飲食料品小売業、飲食店小売業、家具・建具・什器小売業、医薬品・化粧品小売業、燃料小売業の6業種で悪化している。

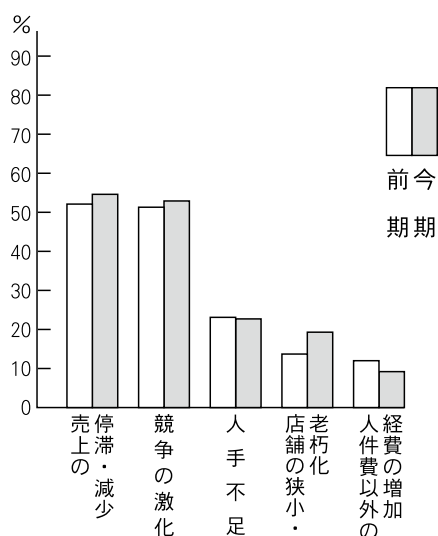
資金繰りD Iは△2.6と前期と比べ3.4ポイント改善している。

経営上の問題点では「売上の停滞・減少」54.6%、「競争の激化」52.9%、「人手不足」22.7%、「店舗の狭小・老朽化」19.3%、「人件費以外の経費の増加」9.2%の順となっている。特に今期は「店舗の狭小・老朽化」が前期と比べ大きく増加している。

来期の業況D Iは△5.0と今期と比べ2.6ポイントの改善、売上額D Iは△7.6と今期と比べ5.0ポイント改善すると予測している。



経営上の問題点



収益の状況

— 横ばい推移 —

今期の収益D Iは△5.9と前期と同水準で推移した。これは前期の見通し△4.3と比べ1.6ポイント下回っている。

来期の収益D Iは△5.8と今期と同水準を予測している。

収益

(単位: %)

	増加	変わらず	減少	D I
29/10~12	6.9	80.3	12.8	△ 5.9
30/1~3	10.9	72.3	16.8	△ 5.9
30/4~6 (見通し)	7.6	79.0	13.4	△ 5.8

仕入単価

	上昇	変わらず	下降	D I
29/10~12	18.0	80.3	1.7	16.3
30/1~3	16.8	80.7	2.5	14.3
30/4~6 (見通し)	13.4	85.8	0.8	12.6

販売単価

	上昇	変わらず	下降	D I
29/10~12	8.6	84.6	6.8	1.8
30/1~3	11.8	79.8	8.4	3.4
30/4~6 (見通し)	5.0	87.4	7.6	△ 2.6

設備投資の動向

今期の実施率は5.0%と前期の6.8%と比べ1.8ポイント減少した。

来期の実施予定は2.5%と今期と比べ2.5ポイントの減少を予測している。

設備投資動向

〔今期の実績〕

30/1~3月実績

実施の有・無	内 訳	比率(%)
○実施した 5.0%	事業用土地	0.0
	店舗・事務所	50.0
	倉庫	0.0
	その他	50.0
○実施しない 95.0%		

(注) 比率は複数回答です。

〔来期の見通し〕

30/4~6月予想

実施の有・無	内 訳	比率(%)
○計画あり 2.5%	事業用土地	0.0
	店舗・事務所	0.0
	倉庫	0.0
	その他	100.0
○計画なし 97.5%		

(注) 比率は複数回答です。

業界の新しい動き・課題・見通し等… ご意見

- ・ 閉店・廃業する同業者が増加している。
- ・ お客の平均年齢が上昇しており「先」が見えない。

(喫茶店)

- ・ 若者の着物離れが深刻である。

(呉服店)